

## 会議録（要旨）

### 【開催概要】

会議名称	第17回泉大津市子ども・子育て会議
開催日時	令和2年7月7日（火）10:00
開催場所	テクスピア大阪 4階 402会議室
出席委員 (名簿順表記)	長瀬委員（会長）・久委員（副会長）・川西委員・村田委員・大橋委員 萩上委員・澤田委員・伊藤委員・亀谷委員・松田委員・能勢山委員 平委員・秦委員・納谷委員 (計14名)
欠席委員	田中委員
事務局	丸山教育部長、川口健康福祉部長、藤原健康こども政策統括監、堀田子育て 応援課長、里見こども育成課長、深澤障がい福祉課長、金原指導課長、 内田教育政策課長、参上こども育成課長補佐、小島こども育成課長補佐、 子育て応援課：谷本、竹村
会議次第	1. 開会 2. 案件 (1) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）について (2) その他 3. 閉会
配付資料	泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）
公開／非公開	公開
傍聴者	3名
その他の必要な事項	なし

## 【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議成立要件の確認（委員 15 名中 14 名が出席のため成立）</li></ul>
会長	<p>2. 案件</p> <p>(1) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）について</p> <p>●資料に基づき説明（こども育成課）</p> <p>◇この件についてのご意見やご質問をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>◇先日の協会の定例会で、こども育成課長からイメージ案についての説明を受けました。園の名前も出ているため、そこでもいろんな意見があったと思うが、今回の資料もほとんど変わっていない。決定したものではなく、これからまだ変わってくるだろうとの説明だったが、同じものが出てきています。以前も質問させてもらった4つめの公立認定こども園という問題があり、今のところ3つでという答えをいただきました。前回も公立はお金がかかるので民間でという説明を聞いたが、4つめの公立認定こども園が出てきているのはどうなのでしょう。このまま進めていいものか、もう一度委員の皆さんで検討してもらえたらと思います。</p>
会長	<p>◇事務局の考えはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>●前回イメージ案を提示してご意見をいただいた中で、細かい部分でのご意見はなかったものと捉えておりますので変わっておりません。民間園の集まりの中でご指摘いただいた部分については、「現状」のところには今実際にある民間認定こども園の名前を挙げさせていただきましたが、計画の実施後にこう変わるという部分については、イメージ案では名前が挙がっていたところ、ご意見もいただいたので、名前を抜いて何園（園数）というかたちで挙げさせていただいたということです。公立は3園ということですが、施設整備を伴う新たな公立4園目はありませんということで、要保育所の場合は現状の建物で1号の受け入れを増やして認定こども園化することが可能と考えておりますので、今回の案の中に入れてさせていただきました。</p>
委員	<p>◇施設整備にお金がかからなくても、維持をしていくには職員の人件費もかかりますし、保育士不足の問題もあります。敢えてそれでやっていくのがいいのかどうか、検討した方がいいかなとは思っています。</p>

副会長	<p>◇今の質問が出るということは、今の答えを導く方針が前にきちんと書かれていないだろうと思います。具体的に言うと、条東や浜校区ではすでに公立がありながら最終的には民間認定こども園になる。穴師は公立も残しながら民間園も活用させていただく。このあたりのストーリー、どうしてこうなのかというところが、具体的な内容に入る前に、こういう方針で決めたんだということが前にしっかりと書かれていたら、なるほどそういうストーリーなのかとわかると思うんです。私は今の説明を聞いた限り、ある程度は納得しますし、穴師のこれからの子どもの数、教育・保育ニーズを踏まえると、ここではやはり公立でもやっていきたいという意思表示なんだろうと思います。そこをもう少し丁寧に説明していただければわかるのかなと思いました。全部読ませていただくとわかるんですが、もう少し的確にストーリー化できないかと思っています。これは、公共施設としていかに適正に配置していくかというところの柱が今回の計画では非常に大きいので、そこを端的に最初に言うておく方がいいと思うんです。そのためにはまず、一番大きいのは子どもの数が全体的に減っていきますということ。2つめが、保育所と幼稚園のニーズのアンバランスが起こっているということ。この2つが前提として一番大きいのかなと思いますので、まずそこからスタートすればいいんじゃないか。そして、それをどう解決するか。さらに、再編にもかかわらず教育・保育の質を落とさないためにはどうしたらいいかということについて今回しっかり考えさせていただきました。これが大前提として書かれている方がいいんじゃないかと思います。その結果、こども園化、公民の協働、地域バランスという話につながっていく。こども園の説明をするよりも、こども園にすることによって教育・保育のニーズのバランスが柔軟に対応できるということが柱だと思いますので、やはりそこを最初にしっかり書いてほしいと思います。こども園化、公民の協働、地域バランスの順で書かれているのも、私は地域バランスが2番目じゃないかと思います。まずはこども園化でニーズに柔軟に対応できるようにする。それで、再編にあたっては小学校区という地域を見て適正にバランスをとっていった。その時に、公だけ見るのではなく、民の力もお借りするという観点で整理をしていったということだと思うんです。もうひとつ、次のステップとして重要なのが、公立と民間の役割分担、しっかりとした連携ということであると、民でやっていただいた方が建設費用の補助が出るので市としても助かる。しかし一方で、公立としての役割ということで、管理職レベルのベテランが、これからもしっかりと市全体の教育・保育ニーズに的確に応えるためには、公立も運営しておかなければならない。そのあたりが、全体が流れるような説明にさせていただくと、よりわかりやすくなるんじゃないかと思います。全体の書きぶり、流れのようなものを再調整していただけないかというお願いです。</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務局	<p>●こちらが言わんとしていることは、今副会長にお話しいただいたことと同じです。表現の仕方をもっと良くできるのではというところでご意見をいただいたと思っておりますので、修正を加えたいと思います。</p>
委員	<p>◇条南幼稚園は確実になくしますということでもいいですか。</p>
事務局	<p>●条南幼稚園は、比較的園児数も安定しておりまして、廃園基準まで待つということになると、かなり時間は要すると考えています。どちらかと言うと、積極的に認定こども園化を進めていくということを柱にしている中で、子どもの数、地域のバランスを考えて、早く認定こども園化を進めていくという意味で挙げています。現に通っていただいている子どもの成長や保護者に影響のないように進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>◇今通っている子どもの下の子ども同じ園に通わせたいという保護者も多いので、そこも考慮していただきたいなと思います。現状の民間認定こども園の定員に幼稚園の1号認定分をプラスするということですが、2・3号含めて既に子どもがいる中に条南幼稚園分がプラスされると、敷地などを見ても本当に対応できるのかと疑問です。</p>
事務局	<p>●条南幼稚園の場所を使って、その定員も含めた新たな民間認定こども園の募集をかけるということです。</p>
委員	<p>◇現状の民間さんをお願いするという事だから2園となっているわけじゃないですか。3園目をつくるということですか。</p>
事務局	<p>●新たな施設を設けるということではなくて、結果的に現状の民間さんでの受け入れになるかもしれませんが、条南幼稚園の1号分を含めたかたちで募集をかけたいと思っています。認定こども園化するという大きな柱としており、その中で新たにこども園を整備していくことにはなりますが、それが3園目ということではなく、1号認定を含めた施設整備を募集して設置していただきたいと思っています。</p>
会長	<p>◇浜小学校区、条東小学校区の場合には、民間認定こども園そのものを募集する形ですが、条南小学校区に関しては、既存の民間認定こども園も含め、条南幼稚園の定員を含めての施設整備を進めていく。そこが⑤⑥と⑦との違いだろうと思います。必ずしもこの2園に固定したものではないけれども、条南幼稚園1号のニーズを踏まえた整備を条南小学校区内で行うという理解でいいでしょう。</p>

副会長	<p>◇私は他の施設でもこういう計画と一緒に作らせてもらっているので、市役所として難しいなと思うのは、民間さんにどうしてほしいというのをなかなか押し付けるわけにもいかず、そこが難しい立場だと思うんです。民業圧迫はダメだろうということで、民間さんもこれからも継続した経営をしていただきながら一方で、公立としてどういう形で一緒にやらせてもらうかというバランスの問題、経営的観点として民業圧迫をどう避けるのかということだと思います。条南小学校区で非常に難しいのは、2つの民間の認定こども園があり、今の状況ではなかなかプラスアルファができない状況の中で、条南幼稚園の敷地が空くわけですね。ここをどう活用されるかという中で、現状の2園のどちらかがここへ移っていただくのが一つの方法としてあるんだけど、どちらに移っていただくのか、移ってもらえるのかどうかも含めてグレーな部分がある。その中でどうするのかということを経営されている2園と交渉しながら、最終的にはうまくここで決着をさせる。こういうストーリーだと思うんですが、この状況ではなかなか書けないというつらさだと思いますので、少しそういうストーリーを1行2行でも書くのか、その辺りをまた事務局でご検討いただく必要があるのかなと思います。</p>
委員	<p>◇不安になっているというのは間違いなく保護者みんなが持っている感情です。この書き方がなんとかならないものかと思います。</p>
委員	<p>◇子ども未来プランでは園区はない、泉大津市全体で考えていくとあります。そのプランができてすぐに、これは小学校で考えていくというのは非常に不自然、無理やりな言い方だと思います。</p>
事務局	<p>●1 提供区域で子ども未来プランを策定させていただきましたが、それは変わりありません。その中で、1号の受け皿をつくる目安として小学校区を示していますので、保護者がどちらを選ぶかというのは、自由に選んでいただければ結構です。行きたい人が行ける可能性を確保するため、目安としてこういう表現をしています。</p>
委員	<p>◇私は2歳の孫がおり、来年こども園に行かせていただくといういろいろ調べています。申し訳ないが、決して市のこども園が人気があるわけではないんです。私の校区でも民間はいっぱい、公立ならとっていただけ。私はこの会議に初めての時から参加させていただいているが、市の最初のこども園である、くすのき認定こども園の時も大変だった。保護者から電話がかかってくる、家に押しかけて来られることもあった。その時も必ず「きっと、楠校区でよかったと思うよ。あなたたちが働けるように、もっと自由に使えるようになるのよ。」とお話させていただいた。反対された方も、自分の子どもが卒園する時には「よかった」と言ってもらえたのが非常に印象的でした。</p>

	<p>手本という形で市が関わるということは、非常に大事だと思います。でも、決して民間だからといっておかしいわけではないし、それぞれが特徴ある園をめざしてくれてるじゃないですか。それぞれが切磋琢磨して頑張ってくれてるんだと感じます。実際に幼稚園を訪問しても、だんだん子どもが減っている。もっと大勢の中で生活する方が勉強にもなり、子どもにとって大事なことだと思います。お金の話にしても、民間なら国・府も負担して建てられます。公立なら全額市負担なんです。うまく活用して、未来ある子どもたちをみんなで守っていければと思います。前回の会議でも民間の力を借りなければという意見があったことを印象的に覚えており、大事だなと思います。</p>
委員	<p>◇人口が少しずつ減少していくと先が見えている中で、長い先では小中一貫校という案も考えられるんですが、早い段階から中学校区で教育・保育を見据えていくという観点も大切で、この小学校区の区割りじゃなくて、中学校区でしてもいいのかなと思ったりもします。また、この資料でもハード面での計画が多いんですが、先ほどもあったストーリー性をもって見せていくのがいいというのは私もそのとおりで思たんですけど、ソフト面として、小学校へつないでいく過程の内容であったり、なくなる園のなくなることを超えるメリットについてのメッセージ性みたいなものがストーリーの中にあれば、読む人も不安にならないのかなと思います。</p>
委員	<p>◇私もこの資料を最初見たときに、自分の小学校区のことを気になってそこを見たら、「えっ？」となりまた前のページに戻って説明を読んで、となりました。私は前回の会議でもお話を聞いてますし、今日も最初から一緒に説明を聞いているので「なるほど」となりますが、これを見られる市民の大部分は、説明を受けず自分で読み込んで理解するっていうことになると、小学校区の表がシンプルでいいんですけど、この表の中にも良い方向に変わっていくんだと補足が少しでもないと、せっかく見てわかるようにシンプルにと作ったのに、マイナスの印象しか与えない資料になってしまいます。</p>
委員	<p>◇認定こども園や幼稚園など、今、人材確保はできていますか。公立の小中学校では、大阪府下どこでも欠員が出てる状況なんですけど。</p>
委員	<p>◇私の園では、クラス数に必要な確保はできていますが、園児数を減らすことで職員を確保するような状況になっています。もう少し確保できたら、待機されてる子どもさんを受け入れることが可能かもしれません。</p>
委員	<p>◇職員の研修についてはどうなっていますか。</p>

委員	<p>◇フリーの主幹保育教諭が補充に入ってもらったところで研修に出てもらっていますが、実際にそこをうまく組み合わせていくことは難しいなとは思いますが。子どもたちの安全を守りながら職員を動かすという難しさはあります。</p>
委員	<p>◇なぜそういう質問をしたかという、乱暴な言い方になってしまうかもしれませんが、建物を建てるのは、お金さえかければできると思うんです。今だんだんと、公教育にお金をかけないといけない時代に移行してきています。これは、いろんなところで言われているが、日本は公教育にかけられるお金が少ない。現場では、アレルギー対応や配慮の必要な子どもなど、高いところを求められている。そのためには、研修をしっかりとしていかなければならないということになる。最後は「人」だと思えます。そう考えたときに、民間と公立と切磋琢磨しながら、泉大津市で高い水準の教育をどれだけできるのかということから逆算して、いくつの公立認定こども園を残していけばいいかということだと思えます。ハコの話ばかりになっているが、その中できちんとした研修ができない、職員数が確保できないとなると、それで運営したところで民間さんに負けてしまうんじゃないですかと思ってしまうんです。民間さんの方も厳しいとは思いますが。</p>
事務局	<p>●職員の配置については、資料でもご説明させていただいているように、かなり厳しい状況にはなっています。運営していくうえで必要な配置については進めていっていますが、なかなか難しいというところもあって、今回この計画を立てさせていただいているという側面もございます。その中で、市として認定こども園を何園やっていけるのかと考えていった結果をこの計画に盛り込んでいると認識しています。</p>
会長	<p>◇いろいろ出た意見を考えますと、例えば5ページのところの再編の方針が3つ挙がっていますが、これが並列ではなくて流れになるようにできると、少しわかるのではないかと。副会長の意見とは違いますが、私は③を最初もってくる。つまり、再編の根本は適正規模が大事なんだということで、それを市全体で見たときに適正に配置していくことが必要なんだということがまず方針として挙がる。私が考える適正配置というものは、保護者が1号を望もうが2号を望もうが、ちゃんとニーズに応じてもらえる。そして、ある程度の通園のしやすさがある。その目安の一つが小学校区である。最後にもう一つは、それを維持できる職員が公立も民間も含めてちゃんといますよということ。そうやって適正な規模を適正に配置していこうと思った時に、その有効な方法のひとつが、泉大津市としてはこども園化を進めていくということです。そして、そのこども園を公立だけでなく民間の力も借りながら適切な役割分担をしていきますよという流れだと、誰のためにどの方向で進めていくのかが、もう少しわかりやすくなると思います。こども園化ありき</p>

	<p>のように感じられてしまうと、それは趣旨が違ふんだらうなと思います。また、小学校区単位で表していただくと、非常にわかりやすい面と細切れになる面とがあるので、これは今私が思いついたことでかえってわかりにくくなったら申し訳ないんですが、再編のパターンを示す。例えば、校区を並べるのではなく、現存する園を活用するパターン、民間のこども園を新設するパターンなど大きく示して、その中に例として学校区が入っているようにすると、全体としてこうなり、自分の校区はこうなるとわかるのかもかもしれません。今ある大切な資産のこども園を活かしながら、こども園のないところには、どういうこども園をつくってニーズに応じていくのかというのが、もしかするとストーリーが見えやすい形かも知れません。基本的な考え方を変えるというよりも、考え方を示しやすくする方法がまだいくつかあるんじゃないかと感じたのですが。</p>
副会長	<p>◇先ほどからのご指摘もあるように、最後の3ページにみなさん目が行くと思うんです。そこで、市がどうしてこういう表をつくって説明してるかという本当の思いが、まだうまく伝わってないと思うんです。1号から3号まですべてのニーズをどう受け止めるかという話ではなくて、それぞれの小学校区に今存在する、あるいは将来存在する1号のニーズをうまく小学校区内でおさめるためにどうしたらいいかという計画でここに書かれているんだと思います。そこだけ切り取って説明をされちゃうので、すごく誤解をされているんだらうと思うんです。そうではなくて、1号から3号までのニーズは、市全体としてバランスをとって考えてますと。けれど、今回再編する、もっとストレートに言うと、うまく公立の数を減らしていくという観点に立った時に、どういう観点を計算をしたのか、計画をしたのかという中で、各小学校区の1号ニーズをその小学校区内で収めるような基準をもって、この最後の一番細かい計画をつくらせてもらいましたという話であれば、ストーンと落ちてくると思います。その前に、全体の1号から3号までのニーズをちゃんと満たしているということをきちんと説明していただいて、最後の最後でここに凝縮していくというストーリーだとわかりやすいのかなと。どうしても最後のこの表が必要だということは私はわかります。これをみなさんにお示ししながらご認識いただくということが早い段階で必要だから、ここまで具体的に書いてると思うんですよね。だから、これを抽象的にするっていうのは逆に計画として不十分になるので、これはしっかり書く方がいいと思いますけど、これの意味するところをもう少し丁寧に説明していただければいいんじゃないでしょうか。</p>
委員	<p>◇先ほどもありましたが、くすのきの時は本当に大変な騒ぎだったんです。先生方も保護者も大変でした。1号の保護者と保育で預けたい保護者との軋轢まで生まれたりしました。伝え方っていうのはすごく大事になってくるんじ</p>

委員	<p>やないかなと思うし、これを読んだかぎりでは納得してもらえる保護者はごく少ないでしょうし、また揉め事に発展してしまうんじゃないかなって不安もありますので、どんなことでもそうですけど、変わるってことに対して受け入れるのに時間がかかる方もたくさんいらっしゃると思いますので、丁寧な説明をお願いしたいなと思います。</p> <p>◇9ページの③の文章がわかりづらくて、「公立では民間の2倍以上になります。」は運営費のことを言ってると思うんですが、題字のところでは「建替えには公立施設の市負担額は民間施設の2倍以上」となってます、わかりづらいなと思います。「園児1人当たりの市負担額」とあるのも、他のようにグラフとかで表してもらった方がわかりやすいのかなと思います。</p>
事務局	<p>●ご指摘のとおり、示し方については訂正していきたいと思います。</p>
委員	<p>◇今回大事なことは、泉大津市の官民が一体になって子どもたちの成長を考えるとことだと思えます。それが全面的にもっと前に出るべきだと思うんです。今までは公立だけで考えていたけれど、この少子化の時代になって、官民協力でお互いがwin-winの関係で子どもたちを育てていこうと。その後小中学校につないでいこうと。そういうビジョンの中で今回の案が出てきました。そして、今後もこの協力体制は変わりませんよというようなことをしっかりと書いていけば、保護者にも納得してもらえないんじゃないかなと思うんですけど、これを見る限りではそこが弱いような気がします。大きなビジョンをしっかりと示してあげるべきじゃないかなと思います。</p>
委員	<p>◇保護者の方にも情報が入っているので、今かなり不安になっています。やはり早急な保護者への説明を何回かわけてしてほしいと思います。保護者が一番不安に思ってるのが金銭面で、公立においても保育所と認定こども園では最初に支払う制服などの費用はかなり違ってくるんです。そういう情報も説明会の時に伝えてあげれば、安心すると思うんです。中身的には、やはり少人数で社会性というのはなかなか難しいです。ある一定の人数がいてこそだと思いますし、それは説明すればわかっていただけると思います。</p>
会長	<p>◇今出ておりますのは、市全体としての再編ということで、その大きな流れや方向性をしっかりと示していくということと、それに伴い、各小学校区単位で言うと、「廃園」であったり文字だけ見ると不安になる要素が書かれているので、こういう形で子どもたちの就学前の教育・保育が保証されるようになるんだという展望のある書き方をすること。そして、公立、民間が力を合わせてそれを市として行っていくんだということ。子どもたちのこれからつながることをなるべく出して、かつ、そこに職員のことを含めて考</p>

事務局	<p>えていただくと、再編の意味というのもわかりやすくなるのかなと思います。ここまでについて、事務局から何かありますか。</p> <p>●みなさんから貴重なご意見をいただいて、より良い計画にさせていただきたいと思っています。説明の足りない部分や順番など再度検討させていただきます。その中で、次回にまた案をお示しさせていただくわけではありますが、大きな方向性としてはこのままでいかせていただいているか、ここで改めてお出しただけならと思いますのでよろしくお願いします。</p>
会長	<p>◇では、事務局からありましたように、大きな方向性は本日確認させていただこうと思います。再編計画そのものについて、計画の中身をこの形で決定していかどうかを今から審議していきたいと思っています。基本的な計画、方針として、これでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>◇おおまかにはこれでいいと思うんです。ただ、再編の方針について順番が違うとの意見もありましたので、これはもう少し考えていただいたら。また、みなさんが非常に気にかけている校区別に並べる必要がないというところ、これをまた考えていただいて、もうちょっとひねっていただくということ。最後に、民間だとお金がかかるというのを聞いて、本当にそうだなと思います。道具箱などをきょうだいが使ったものを使えないとか、同じものを毎年買えということがあがるが、これは行政から指導できないんですか。そのような苦情をよく聞きます。行政の気配りがもう少しあれば、民間へ行く保護者も安心できるんだと思います。</p>
委員	<p>◇公立3園の定員で900弱あるはずで、さらに4つめというのは財政的なことを考えると、やはりやってもらいたくないなと思います。要保育所の建物を活かしてということも聞きましたが、ここを民間でということも考えられるのかなとも思います。それと、条南幼稚園の民営化と言うところがよくわからなかったというのがあります。</p>
事務局	<p>●穴師小学校なんですが、幼稚園の園児数も減ってきている中で、要保育所は常に需要がたくさんある状況です。大きな柱としてこども園ということを考えている中で、要保育所をこども園として民間で募集していく方法もあるとは思いますが、今回第2期というところに当てはめておりますので、子どもの人口の状況もまた見ていかないといけないのかなということもあります。その辺りについては、今の状況を見て整理をさせていただいたということです。委員みなさんのご意見をお伺いできたらなと思います。</p>

副会長	◇私なりに考えさせていただくなら、ひとつは今お勤めいただいている保育士さんの安定雇用であったり、あるいは施設の有効活用であったり、そういうことを考えたときに、公立のまま延長した方がうまくいくんじゃないかというご判断かなと認識しましたので、私はその方向でいいんじゃないかなという判断をさせていただきます。
委員	◇要保育所をかなめ認定こども園に移行した場合に、また施設が古くなっていて建替えということを考えてもということですよ。
事務局	●施設整備を伴わない形で1号認定の枠を設けることを前提で、こういう形にさせていただきましたので、大きく子どもの数ですとか施設を根本的に見直さないといけない時期には、また新たな検討が必要かと考えております。
委員	◇要保育所の土地なんですが、府から借りている土地だとお伺いしています。そういうところに建っているものを民営化とか、そういうことは可能なんですか。
事務局	●可能ですし、そういった例もございます。
会長	◇こども園を設置して、1号認定の定員を含めて考えていくということについては、ほぼ異議はないのかと思いますが、それが公立の認定こども園の形で実施していくのか、民間の募集も含めて考えていくのかは意見が分かれていると思うんですけど、いかがでしょうか。
事務局	●今後の子どもの人口の状況によっては、まずは民間さんが担っていただけるのを優先的には考えていくべきだと思っておりますので、今後推移していく中で、その辺りをご判断いただけたらとは思っています。
会長	◇特にご異議がなければ、いったん公立の(仮称)かなめ認定こども園という形で計画をしていきたいと思いますが、いかがでしょうか。
副会長	◇先ほどの事務局のお答えは非常に明快だと思うんですね。いったんはこういう形ですけれども、将来的にはこういう余地も残す、こういう検討も加えたいという一文を入れておけば、かなり印象が違うんじゃないかなと思うんですけどね。
会長	◇長期的なものですので、そういったことも含めて考えていくということではいかがでしょうか。

委員	<p>◇仮称であっても名前が出てくるわけですから。これが前に出てくると思うんです。いずれ変更するかもしれないというのがあったとしても、できるということが先に走ってしまうんじゃないでしょうか。いろんな形に変化してくるだろうけれども、ここまで書かれてしまうと、それが既成事実化してしまうんじゃないかという心配はあります。</p>
事務局	<p>●すべて認定こども園という形で案に落としておりますので、そこを統一するために仮称でかなめ認定こども園と入れさせていただいてます。実質的には、穴師幼稚園が廃園になった時の1号の受け皿として、こども園として認可される必要があるため、このように書かせていただいておりますが、委員のみなさんがよろしければ、いったん次の計画はその形で書かせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>◇だめなんですか。これからは保育所や幼稚園ではなく、こども園にしたいということを掲げてますよね。その中で、まだまだ先の話で行く行くは認定こども園にするということで、何か不都合ってありますか。私はスムーズに理解できるんですが。いったんはこの形でよしということで終わらせていただけると、大変ありがたいんですが。</p>
事務局	<p>●(仮称)かなめ認定こども園のところに、もう少し追記の説明を入れさせていただくということで、ご了解いただけたらと思います。</p>
会長	<p>◇現時点では公立の認定こども園への移行を想定しているけども、状況によっては何らかの変更があるかもしれないということで、それを含んだ形の表現を入れていただいて、いったん再編計画そのものはこの形で決定させていただいてよろしいでしょうか。できるだけ状況の変化に適合できるような形にしていくということでご理解いただければと思います。大きな流れについては今ご確認いただいたんですが、誤解なくご理解いただけるようにということについては、次回の会議の中でまた検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>◇14ページの②の中で「公募型プロポーザル方式」とあるんですけど、わからないので注釈でもあればありがたいなと思います。</p>
事務局	<p>●こういう形で選ばせていただきますという条件をみなさんに広くお伝えしたうえで、参加していただいたみなさんそれぞれで提案していただき、各提案に点数をつけさせていただいて、上位の方にやっていただくと、簡単に言うとそういう形の方式になります。わかりやすく表記させていただきたいと思います。</p>

会長	◇書類審査と、おそらく面接も含めての事業者選定という形で、公平に公正にやっていくということがわかるようにしていただけたらと思います。
会長	◇では、案件1についてはこれで終わらせていただきます。
	(2) その他
会長	◇案件(2)その他について、事務局から何かありますか。
事務局	●今後のスケジュールについてご説明させていただきます。いただいたご意見を案に盛り込んだうえで、次回の会議でご提示させていただき、ご議論いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。次回の日程ですが、8月3日(月)10時から、場所は旭幼稚園リズム室で開催を予定しております。以上です。
会長	◇案件は終了しましたので事務局へお返しします。
	<b>3. 閉会</b>
	以上